

「トクわく」の進め方

「トクわく」は、プログラムの展開がシンプルで簡単に進められることが特徴です。進行役はファシリテーター*としての経験が少なくても、無理なく務めることができます。

1 資料の確認

- 県庁公式ホームページ「トクわく」の専用サイト（下記2次元コード）から、ワークシートやその他必要な資料をダウンロードしてください。
「^{えがお}愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集」 「トクわく」
<https://www.pref.ehime.jp/page/1258.html>



2 学習の計画

- プログラムの展開について検討します。
 - ・「展開例」を参考に、必要に応じて時間配分等を見直します。
- 進行役を2名以上確保します。
 - ・司会進行（メイン）と話し合いのサポート（サブ）が必要です。
- 参加者のグループ分け等、進行役と打合せをします。
 - ・グループの人数は、4～6人が目安です。



3 当日の進行

- 進行役はP9の役割を心がけて、プログラムを進行します。
 - ・「展開例」を参考に、司会進行を務めます。（メイン）
 - ・参加者の様子を観察し、必要に応じてサポートします。（サブ）
- アンケート（P80）を実施します。
 - ・アンケート結果から、参加者の感想を確認しましょう。

4 実施後のアンケート

- プログラム実施後は、アンケートのご協力をお願いします。
 - ・ファシリテーター用のアンケート（P81）にて、県教育委員会までご意見やご感想をお寄せください。新プログラム開発等の参考にさせていただきます。

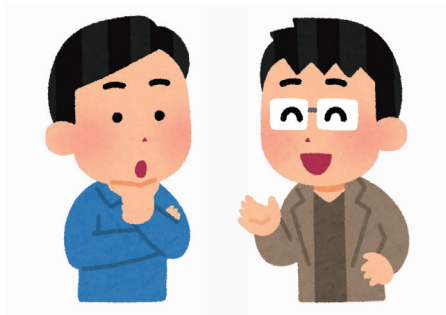
* ファシリテーター…会の進行や参加者同士のコミュニケーションをサポートする人

進行役（ファシリテーター）の役割

進行役は次のことを心がけてプログラムを進行すると、話し合いや参加者の交流がスムーズになります。

安心して参加できる雰囲気や場づくり

3つのルール（尊重、共感、守秘）を確認し、その姿勢をファシリテーターが率先して示すようにしましょう。



参加者の意欲を高める声かけ

多様な考えを認めたり、質問を投げかけたりするなど、話し合いの活性化につながる声かけにも取り組んでみましょう。

参加者同士の関わり合いも支援

孤立しがちな人がいるかもしれません。活動の様子を見守りつつ、参加者同士の関わり合いも支援しましょう。



プログラムの流れを調整

計画どおりに進まないことも想定し、説明や時間配分など、参加者の様子確かめながら、その場でプログラムの流れを調整しましょう。